



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

セゾン・ グローバルバランスファンド

運用報告書(全体版)

第19期（決算日 2025年12月10日）

■当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用する株式と債券のそれぞれのインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更（増減ならびに入替など）します。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポートホールド、債券等エクスポートホールドおよびデリバティブ取引等エクスポートホールドの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第19期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたことを併せてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

いそがないで歩こう。



セゾン投信

お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口

〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1

[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

運用担当者の紹介

執行役員、マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄 (SESHIMO Tetsuo)

主な役割

投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数

19年

投資に対する考え方

景気や市場動向の予想に頼らず、
一貫した姿勢で投資を行うことが成果につながる

経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社

2007年 セゾン・グローバルバランスファンド、セゾン資産形成の達人ファンド設定時より運用を担当

2011年 ポートフォリオマネージャー 就任(現職)

2014年 運用部長 就任

2021年 マルチマネージャー運用部長 就任(現職)

2024年 執行役員 就任(現職)



セゾン・グローバルバランスファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、バンガード社のインデックスファンドへの投資を行うことにより、受益者の皆さまの長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

◎受賞実績



「R&I ファンド大賞2025」5年連続 受賞

最優秀ファンド賞 部門：投資信託10年 カテゴリー：バランス型(標準)



「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2025」4年連続 受賞

最優秀ファンド賞 部門：投資信託部門 評価期間：10年

リッパー分類：ミックスアセット 日本円 バランス型



「ウエルスアドバイザーアワード2024」2年連続 受賞

“NISA成長投資枠”WA優秀ファンド賞 部門：バランス型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数	為替レート		投資証券組入比率	投資対象ファンド組入比率								純資産総額	
	(分配額)	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率	米ドル(円)	ユーロ(円)	500・インデックス	ヨーロピアン・ストック	ジャapan・ストック	パシフィック・エクスパン・ストック	マージング・マーケット・ストック	U.S.・ガバメント・ボンド	ユーロ・ガバメント・ボンド	ジャapan・ガバメント・ボンド		
第15期 2021年12月10日	円 19,206	円 -	% 15.3	22,639	% 16.8	113.47	128.12	% 98.9	% 30.9	% 8.2	% 3.1	% 1.4	% 5.9	% 25.3	% 19.2	% 5.0	百万円 294,071
第16期 2022年12月12日	19,645	-	2.3	22,866	1.0	136.76	143.76	99.0	30.7	8.3	2.8	1.6	5.8	28.0	17.8	4.1	337,818
第17期 2023年12月11日	22,351	-	13.8	25,899	13.3	145.40	156.58	99.2	32.3	8.2	2.9	1.4	5.3	26.9	18.8	3.4	412,876
第18期 2024年12月10日	26,498	-	18.6	30,946	19.5	151.54	159.91	98.9	34.0	7.1	2.5	1.2	4.9	27.1	18.7	3.3	518,971
第19期 2025年12月10日	30,351	-	14.5	35,150	13.6	156.88	182.39	99.0	33.5	7.4	2.5	1.2	5.5	26.4	19.3	3.2	622,647

- ・基準価額は1万口当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指標を参考指標として記載しております。参考指標は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指標は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・組入比率は、対純資産総額です。組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・為替レート(米ドル(円)、ユーロ(円))は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用しています。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		(参考指標) 期中騰落率	合成功数 期中騰落率	投資対象ファンド組入比率									ジャapan・ガバメント・ボンド
		騰落率			投資証券組入比率	500・インデックス	ヨーロピアン・ストック	ジャapan・ストック	パシフィック・エクスパン・ストック	マージング・マーケット・ストック	U.S.・ガバメント・ボンド	ユーロ・ガバメント・ボンド	ジャapan・ガバメント・ボンド	
(期首) 2024年12月10日	円 26,498	% -	% 30,946	% -	% 98.9	% 34.0	% 7.1	% 2.5	% 1.2	% 4.9	% 27.1	% 18.7	% 3.3	
12月末	27,049	2.1	31,484	1.7	99.0	34.2	6.9	2.5	1.2	5.0	27.2	18.7	3.3	
2025年1月末	26,693	0.7	31,021	0.2	99.1	34.2	7.2	2.6	1.2	4.9	27.5	18.1	3.4	
2月末	25,951	△ 2.1	30,441	△ 1.6	99.0	32.8	7.5	2.6	1.2	5.1	28.1	18.3	3.4	
3月末	25,636	△ 3.3	29,906	△ 3.4	99.0	32.5	7.7	2.6	1.2	5.1	27.9	18.6	3.3	
4月末	24,890	△ 6.1	28,866	△ 6.7	99.0	33.6	7.6	2.6	1.2	5.2	27.0	18.5	3.3	
5月末	25,757	△ 2.8	29,834	△ 3.6	99.0	33.2	7.7	2.5	1.2	5.2	26.7	19.1	3.4	
6月末	26,693	0.7	30,943	△ 0.0	99.2	33.6	7.5	2.4	1.2	5.3	26.4	19.3	3.5	
7月末	27,660	4.4	32,139	3.9	99.0	33.5	7.4	2.4	1.2	5.4	26.6	19.1	3.4	
8月末	27,697	4.5	31,982	3.4	99.0	33.6	7.5	2.5	1.2	5.3	26.4	19.2	3.4	
9月末	28,455	7.4	32,890	6.3	99.0	33.5	7.4	2.5	1.2	5.4	26.3	19.3	3.4	
10月末	29,900	12.8	34,819	12.5	99.1	33.5	7.4	2.5	1.2	5.6	26.2	19.3	3.3	
11月末	30,332	14.5	35,036	13.2	98.9	33.3	7.3	2.5	1.1	5.4	26.6	19.4	3.2	
(期末) 2025年12月10日	30,351	14.5	35,150	13.6	99.0	33.5	7.4	2.5	1.2	5.5	26.4	19.3	3.2	

- ・騰落率は、期首比です。
- ・組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

当期の運用状況と今後の運用方針

期中の基準価額等の推移

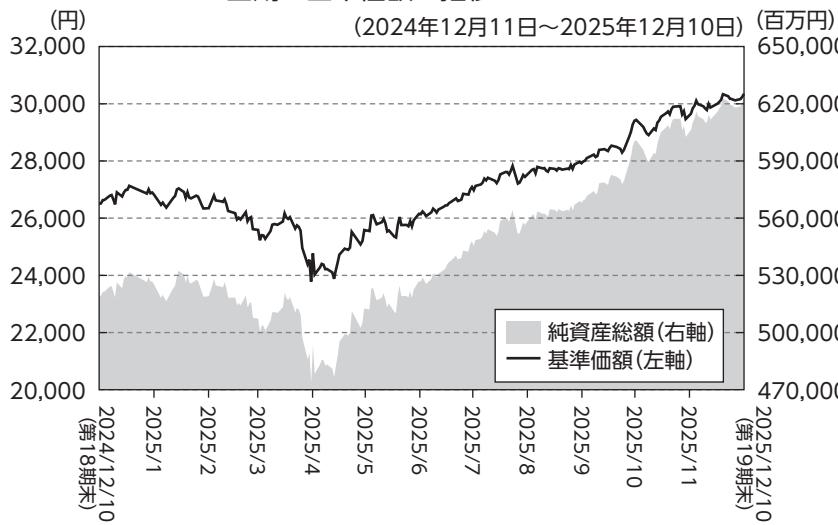
当ファンドの第19期(2024年12月11日～2025年12月10日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2025年4月9日に23,781円の最安値を、2025年12月10日に30,351円の最高値を付け、当期末の基準価額は30,351円でした。設定から当期末までの基準価額の騰落率は203.5%、当期の騰落率は14.5%でした。

【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安 値	23,781円	2025年4月9日
高 値	30,351円	2025年12月10日

当期の基準価額の推移



- 当ファンドには、ベンチマークはありません。
- 分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
- 表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- 上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

【基準価額の主な変動要因】

当期は、欧州国債と日本国債に投資するファンド以外の上昇と対ドル、対ユーロでの円安が基準価額の上昇要因となりました。

< 基準価額のプラス要因 >

バンガード・500・インデックス・ファンド (米ドル)
対ユーロでの為替レート (円安)
対ドルでの為替レート (円安)
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (円)
バンガード・パンフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)

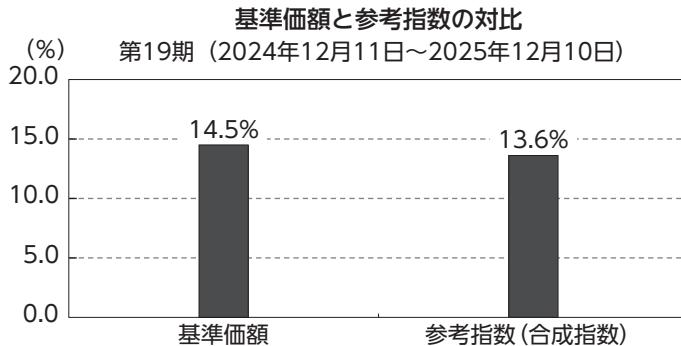
期中騰落率
14.5%

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (円)

< 基準価額のマイナス要因 >

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指標の当期の騰落率の対比です。



- 当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指標として記載しております。
- 参考指標は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

当ファンドの運用経過と結果

当期も、引き続き積立などでのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って各ファンドへの投資を行い、株式と債券の比率が目標から乖離した局面では、比率が上昇したファンドを売却して比率が低下したファンドを購入することによりリバランスを行いました。当期は、3月から4月にかけて株式市場が下落した局面で、債券ファンドの売却と株式ファンドの購入によるリバランスを複数回行いました。それ以外の時期は、株式市場が上昇基調であったことから、主に債券ファンドの購入を行ったほか、株式ファンドの売却と債券ファンドの購入によるリバランスを行いました。

投資環境

【株式市場の概況】

株式市場は上昇しました。

景気の先行きに対する楽観的な見方が維持されるなかで全般的に上昇し、なかでも人工知能(AI)関連投資の拡大やAIの普及に伴う生産性の向上や収益拡大への期待が高まったことを受けて、情報技術セクターやコミュニケーションセクターが大きく上昇したほか、金融セクターも大きく上昇しました。

地域別では、米国でAIに対する期待が高まったことを背景に情報技術セクターやコミュニケーションセクターが上昇し、欧州では景気の先行きに対する悲観的な見方が後退したことや、防衛費の拡大観測が高まったことを背景に金融セクターと資本財・サービスセクターが上昇しました。日本ではAI関連投資の拡大期待が高まったことや、防衛費の拡大観測が高まったことを背景に情報技術セクターや資本財・サービスセクターが上昇し、新興国は、AI関連投資の拡大期待が高まったことを受けて、情報技術セクターが上昇しました。

期の初めから3月頃までは、トランプ米大統領による関税などの経済対策を巡る懸念を背景に、軟調な展開となりました。4月はトランプ米大統領が相互関税と呼ぶ、大規模な関税措置を発表したことを見て、景気減速や長期的な経済成長率の低下への不安が広がって下落しました。その後は、トランプ米大統領が関税措置の全面的な実施を先送りし、他国・地域との交渉を行う方針を示したことを見て反発し、5月は米国と中国が関税率の引き下げで合意したことを見て、安心感が広がって上昇しました。6月はイランとイスラエルの軍事衝突が発生し、中東情勢が緊迫化して下落する局面はあったものの、7月は日本や欧州連合(EU)が米国と関税措置を巡る交渉で合意したことを見て、先行きへの不透明感が和らいで上昇しました。8月は米国で労働市場の弱さが確認され、景気の先行きに対する懸念が高まったものの、同時に政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。9月はAI関連投資の拡大期待が高まったことを受けて上昇しました。10月は米国で一部の政府機関が閉鎖され、不透明感が高まったものの、米国と中国の貿易摩擦の激化懸念が後退したことを見て上昇しました。11月はハイテク関連株式の過熱への警戒が高まるなかで、AI関連投資の収益化に対する懐疑的な見方が広がって下落する局面があったものの、その後は米国で政策金利の引き下げ観測が高まったことを受けて上昇しました。

【国債市場の概況】

国債市場は米国が上昇し、ユーロ圏と日本が下落しました。

米国債は、2024年12月に政策金利が引き下げられたものの、物価の上昇が続いていることを背景に、政策金利の引き下げ観測が後退して下落しました。その後は、景気の先行きに対する楽観的な見方が後退するとともに、物価上昇への警戒が和らいで上昇しました。4月はトランプ大統領が相互関税と呼ぶ、大規模な関税措置を打ち出したことを受けて、混乱や景気減速への警戒が広がって上昇しました。その後は、トランプ大統領が関税措置の全面的な実施を先送りし、5月は米国と中国が関税率の引き下げで合意したことを見て、安心感が広がって軟調に推移しました。6月から7月にかけては方向感のない展開となり、8月は米国で労働市場の弱さが確認され、政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。9月は政策金利が引き下げられるなかで上昇し、10月は一部の政府機関が閉鎖されたことなどを受けて、不透明感が高まって上昇しました。11月は政府機関の閉鎖が解除されたものの、労働市場の弱さへの懸念が高まるとともに、政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。12月は世界的な金利の高止まりが意識されて下落しました。

ユーロ圏の国債は、2024年12月に政策金利が引き下げられたものの、物価の上昇が続いていることを背景に、政策金利の引き下げ観測が後退して下落しました。3月は、ドイツ政府が財政支出を拡大する方針を決定したことを見て、下落しました。4月はトランプ米大統領が大規模な関税措置を打ち出したことを受けて、混乱や景気減速への警戒が広がって上昇しました。5月から9月にかけては、政策金利の引き下げ観測が後退したものの、景気の先行きへの不透明感が高

まって方向感のない展開となりました。10月は、景気減速への警戒が高まるなかで上昇しましたが、その後は当面は政策金利が据え置かれるとの見方が強まつたことを背景に、下落しました。

日本国債は、1月に政策金利が引き上げられたものの、今後の引き上げが慎重に行われるとの見方が広がって底堅く推移しましたが、その後は政策金利の引き上げ観測が高まって下落しました。4月はトランプ米大統領が大規模な関税措置を打ち出したことを受けて、混乱や景気減速への警戒が広がって大きく上昇する局面はあったものの、その後は財政赤字の拡大懸念が高まって下落しました。8月は景気の堅調さが確認され、政策金利の引き上げ観測が高まって下落しました。その後は、財政赤字の拡大懸念が高まって下落する局面はあったものの、日本銀行が政策金利の引き上げを慎重に行うとの見方を背景に底堅く推移しました。10月には高市政権が発足し、11月以降は大規模な経済対策が打ち出されて財政赤字の拡大観測が高まったほか、物価上昇観測や政策金利の引き上げ観測が高まったことを受けて下落しました。

【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が後退して、政策金利の引き下げ観測が高まつたことや政治的な混乱への警戒が高まつたことを受けてドルが下落し、景気の先行きに対する悲観的な見方が後退し、政策金利の引き下げ観測が後退したユーロが上昇しました。円は、1月に政策金利が引き上げられたものの、引き続き金利の高い通貨を選好する動きが続くなかで、日本銀行が慎重に政策金利の引き上げを行うとの見方が強まつたことや、政府支出の拡大による財政赤字の拡大観測が高まつたことを受けて、ドルに対しても下落しました。

期の初めは、米国やユーロ圏で政策金利が引き下げられたものの、今後の政策金利の引き下げペースが緩やかになるとの見方が広がってドルとユーロが上昇し、日本銀行が政策金利の引き上げを慎重に行うとの見方が強まつて円が下落して、対ドル対ユーロで円安となりました。1月から2月は日本で政策金利の引き上げ観測が高まるなかで、米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が後退したことを受け円が上昇して、対ドル対ユーロで円高となりました。3月は欧州で景気の先行きに対する悲観的な見方が後退してユーロが上昇し、対ユーロで円安となりました。4月はトランプ米大統領が相互関税と呼ぶ、大規模な関税措置を打ち出したことを受けて、米国景気の先行きに対する楽観的な見方が後退してドルが下落し、対ドルで円高となりました。6月はユーロ圏で政策金利の引き下げ観測が後退したことを受けユーロが上昇し、対ユーロで円安となりました。7月は米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がつたことを受けてドルが上昇して円が下落し、対ドルで円安となりました。8月は米国で政策金利の引き下げ観測が高まってドルが下落し、対ドルで円高となりました。10月は日本で政策金利の引き上げ観測が後退したことを受け円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。11月は、日本で財政赤字の拡大観測が高まって円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。12月は、日本で政策金利の引き上げ観測が高まつたものの、ドルやユーロとの金利差が大きな状況が続くとの見方を背景に円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

組入ファンドと為替レートの動き

バンガード・500・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・500・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は14.27%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は、投資先バンガードファンドの前営業日の市場終値を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。また、投資先バンガードファンドの騰落率は、税引後の分配金を全て再投資したものとして算出しています。



バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は14.18%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は26.19%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営业日前のものを利用しています。



バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は12.81%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は28.39%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率*は3.84%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率^{*}は△1.31%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率^{*}は△7.86%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移(対米ドル)

当期の対米ドルの為替レートは3.52%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)^{*}でした。

*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間の投資信託協会発表における評価用為替レートを利用しています。



為替レートの推移(対ユーロ)

当期の対ユーロの為替レートは14.06%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*でした。

*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間における投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

(円) 期間中の為替レート(対ユーロ)の推移



今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として積立などでのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して、目標とする投資比率に沿うように各ファンドへの投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整(リバランス)を行うことにより、投資を継続していただいている皆さまの資産の長期的な成長を目指してまいります。

ポートフォリオマネージャー 瀬下 哲雄

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第19期
	2024年12月11日～2025年12月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	21,136

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要	
	(2024年12月11日～2025年12月10日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	134円 (73) (52) (9)	0.495% (0.267) (0.193) (0.035)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価	
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.001 (0.000) (0.001)	(b) その他費用＝ 期中のその他費用 期中の平均受益権口数 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用	
合 計	134	0.496		

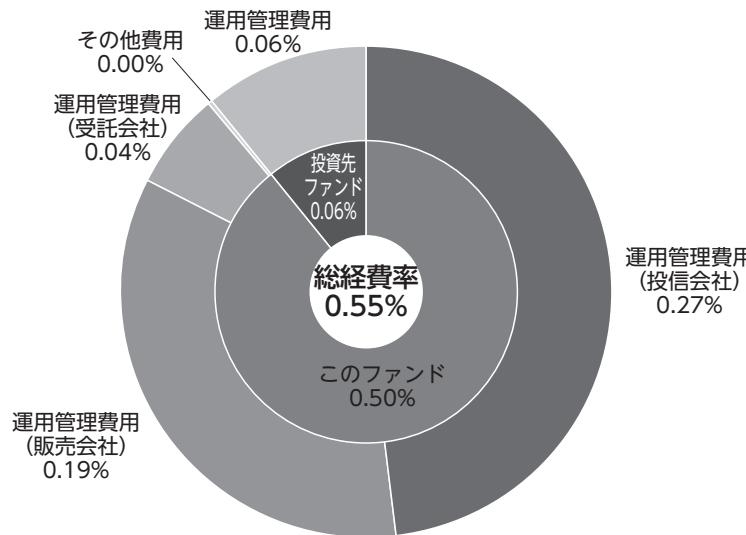
期中の平均基準価額は27,116円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.55%です。



総経費率(①+②)	0.55%
①このファンドの費用の比率	0.50%
②投資先ファンドの経费率 (運用管理費用以外の費用を含む)	0.06%

- ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理费率を乗じて算出した概算値です。
- 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

期中の売買及び取引の状況 (2024年12月11日から2025年12月10日まで)

投資証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外 国 ア イ ル 兰 ド	バンガード・500・インデックス・ファンド	千口 247	千米ドル 120,439	千口 224	千米ドル 124,024
	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 —	千円 —	千口 23	千円 661,500
	バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	503	4,690,000	71	680,000
	バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 —	千米ドル —	千口 10	千米ドル 1,800
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	67	9,300	67	11,300
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	1,172	135,600	457	53,200
	バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	千口 —	千ユーロ —	千口 39	千ユーロ 9,600
	バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	888	101,300	372	42,000

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

利害関係人との取引状況等 (2024年12月11日から2025年12月10日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

・利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年12月11日から2025年12月10日まで)

該当事項はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2024年12月11日から2025年12月10日まで)

該当事項はありません。

組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細

(2025年12月10日現在)

ファンド名	期首(前期末)	当期末				比率	
	単位数 又は口数	単位数 又は口数	評価額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
株式ファンド							
パンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 484	千口 461	千円 15,814,572	千円 15,814,572	% 2.5		
パンガード・500・インデックス・ファンド	千口 2,092	千口 2,115	千米ドル 1,329,007	千円 208,494,691	% 33.5		
パンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	265	254	46,044	7,223,463	1.2		
パンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	1,203	1,203	217,355	34,098,757	5.5		
パンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	千口 1,040	千口 1,001	千ユーロ 253,077	千円 46,158,722	% 7.4		
小計	□数・金額 5,086	□数・金額 5,036	-	311,790,207	50.1		
	銘柄数 5	銘柄数 5	-	-	-		
債券ファンド							
パンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 1,780	千口 2,212	千円 19,866,280	千円 19,866,280	% 3.2		
パンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 8,065	千口 8,780	千米ドル 1,047,723	千円 164,366,833	% 26.4		
パンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 5,268	千口 5,783	千ユーロ 658,902	千円 120,177,269	% 19.3		
小計	□数・金額 15,114	□数・金額 16,777	-	304,410,383	48.9		
	銘柄数 3	銘柄数 3	-	-	-		
合計	□数・金額 20,201	□数・金額 21,813	-	616,200,591	99.0		
	銘柄数 8	銘柄数 8	-	-	-		

・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

・比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

・ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細には外国で投資されている円建て資産を含みます。

投資信託財産の構成

(2025年12月10日現在)

項 目	当期末	
	評価額	比率
投 資 証 券	千円 616,200,591	% 98.7
コール・ローン等、その他	8,291,445	1.3
投 資 信 託 財 產 総 額	624,492,036	100.0

- ・金額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
 - ・当期末における外貨建資産(616,200,591千円)の投資信託財産総額(624,492,036千円)に対する比率は98.7%です。
 - ・外貨建純資産は、期末の時価を我国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=156.88円、1ユーロ=182.39円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2025年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	624,492,036,791円
コール・ローン等	8,291,445,245
投 資 証 券 (評 価 額)	616,200,591,546
(B) 負 債	1,844,349,649
未 払 解 約 金	416,325,751
未 払 信 託 報 酬	1,427,306,792
そ の 他 未 払 費 用	717,106
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	622,647,687,142
元 本	205,149,395,821
次 期 繰 越 損 益 金	417,498,291,321
(D) 受 益 権 総 口 数	205,149,395,821口
1万口当たり基準価額 (C/D)	30,351円

期首元本額	195,852,562,876円
期中追加設定元本額	27,412,642,751円
期中一部解約元本額	18,115,809,806円
1口当たり純資産額	3,0351円

・当用報告書作成時点では監査未了です。

損益の状況

当期 自2024年12月11日至2025年12月10日

項 目	當 期
(A) 配 当 等 収 益	2,121,947,906円
受 取 配 当 息	2,087,975,970
受 取 利 益	33,971,936
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	78,131,990,322
壳 壳 買 買 損 益	83,374,024,370
(C) 信 記 記 記 記 記 記 記	△ 5,242,034,048
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 2,702,938,107
(E) 前 期 継 越 損 益 金	77,551,000,121
(F) 追 加 信 記 記 記 記 記 記 記	173,221,056,405
(配) (壳) 当 等 相 当 (額)	166,726,234,795
(G) 合 次 期 継 越 損 益 金 (G)	182,836,253,239
追 加 信 記 記 記 記 記 記 記	△ 16,110,018,444
(配) (壳) 当 等 相 当 (額)	417,498,291,321
(H) 分 緑 配 越 準 備 損 積 益	417,498,291,321
追 加 信 記 記 記 記 記 記 記	166,726,234,795
(配) (壳) 当 等 相 当 (額)	182,836,253,239
(I) 分 緑 配 越 準 備 損 積 益	△ 16,110,018,444
分 緑 配 越 準 備 損 積 益	250,772,056,526
0	0

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 - ・(C)信託報酬等には信託報酬等に関わる消費税等を含めて表示しています。
 - ・(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
・分配金の計算範囲は以下との通りです。

項 目	当 期
(a) 経 費 控 除 後 の 配 当 等 収 益	2,050,590,340円
(b) 経費控除後・繰越欠損金償還後の有価証券売買等損益	75,500,409,781
(c) 信託約款に定める収益調整金	182,836,253,239
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	173,221,056,405
(e) 分 配 対 象 収 益 (a+b+c+d)	433,608,309,765
(f) 分配対象収益(1万口当たり)	21,136.22
(g) 分 配 金	—
(h) 分 配 金 (1万口当たり)	—

- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

お知らせ

当期中の約款変更について

2024年12月11日から2025年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下のとおりです。

●2025年4月1日付

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

※2026年3月11日付で、信託財産留保額を廃止することに伴い、投資信託約款に所要の変更を行う予定です。

<組入投資対象ファンドの内容>

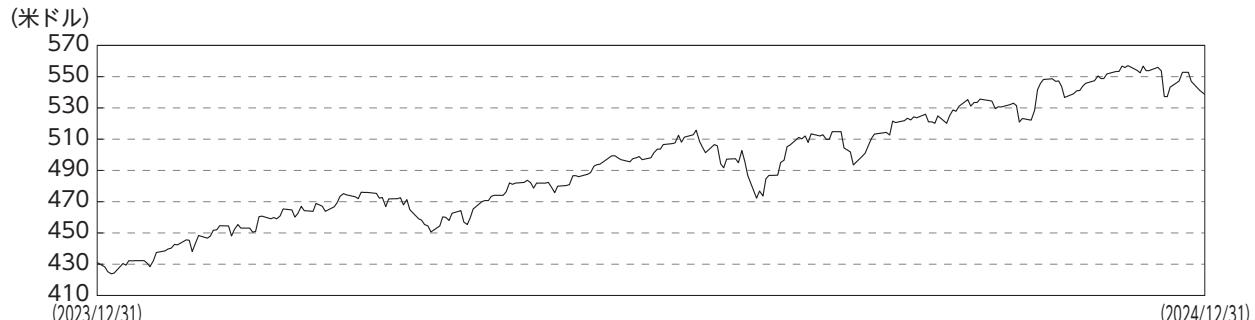
以下は、当ファンドが投資対象としている外国投資証券の運用状況です。
2025年12月末日時点入手できる情報を記載しております。
なお、以下の各項目の注記につきましては、35頁をご参照ください。

1. バンガード・500・インデックス・ファンド

分類	ETFシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	米国籍／上場投資信託
ファンドの目的	S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	S&P500 インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
保管銀行	ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー
管理事務代行会社	ザ・バンガード・グループ・インク
設定日	2010年9月7日
決算日	毎年12月31日

1. バンガード・500・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



・グラフは分配金再投資基準価額です。

■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Apple Inc.	7.6
2	NVIDIA Corp.	6.6
3	Microsoft Corp.	6.3
4	Amazon.com Inc.	4.1
5	Alphabet Inc.	4.0
6	Meta Platforms Inc.	2.6
7	Tesla Inc.	2.3
8	Broadcom Inc.	2.2
9	Berkshire Hathaway Inc.	1.7
10	JPMorgan Chase &Co.	1.4
組入銘柄数		504銘柄

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2024年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.03

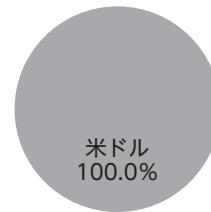
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



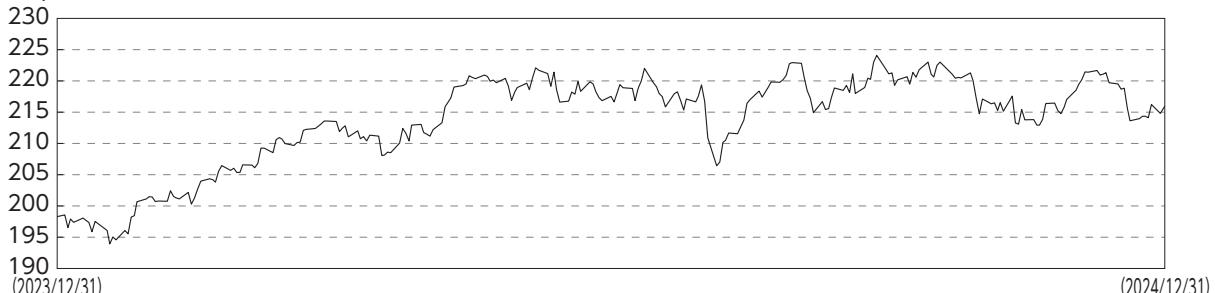
2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(ユーロ建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	MSCIヨーロッパ・インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	MSCIヨーロッパ・インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービス(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移

(ユーロ)



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	ASML Holding NV	2.7
2	Novo Nordisk A/S	2.7
3	SAP SE	2.4
4	Nestle SA	2.1
5	Roche Holding AG	2.0
6	AstraZeneca plc	1.9
7	Novartis AG	1.8
8	Shell plc	1.8
9	LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	1.7
10	HSBC Holdings plc	1.7
組入銘柄数		421銘柄

■1万口当たりの費用明細

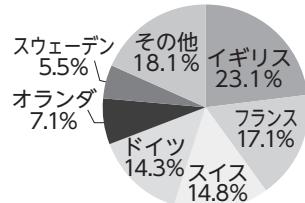
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2024年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.08

■国・地域別配分

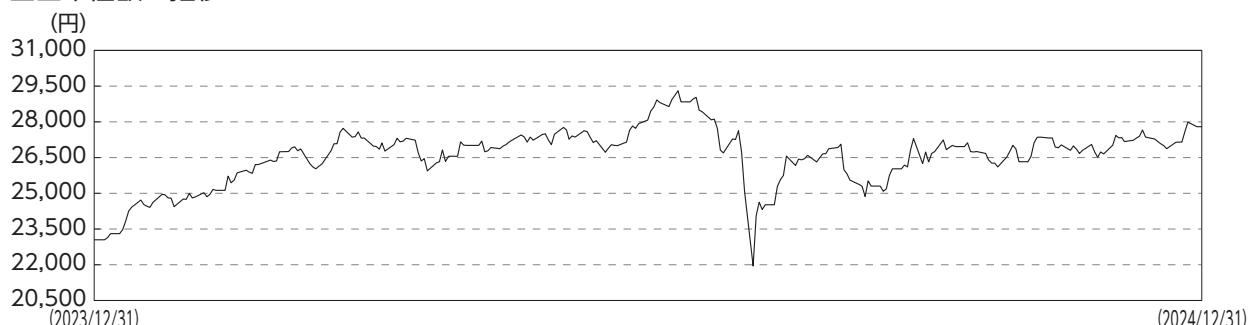


3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(円建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	MSCIジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	MSCIジャパン・インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービス(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
設定日	2014年2月27日
決算日	毎年12月31日

3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	トヨタ自動車	5.4
2	ソニー	3.5
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.5
4	日立製作所	3.1
5	リクルートホールディングス	2.6
6	三井住友フィナンシャルグループ	2.4
7	キーエンス	2.1
8	東京エレクトロン	1.8
9	東京海上ホールディングス	1.8
10	ファーストリテイリング	1.7
組入銘柄数		191銘柄

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

(2024年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率(年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.12

■国・地域別配分

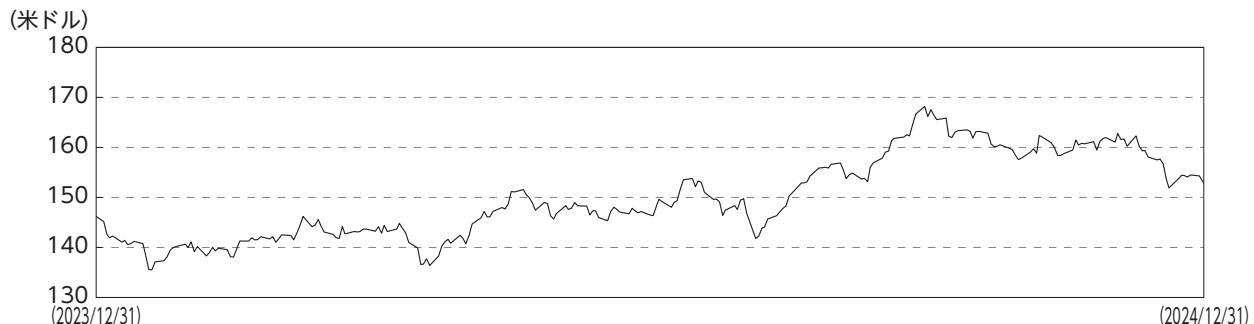


4. バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	MSCIパシフィック・エックスジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	MSCIパシフィック・エックスジャパン・インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービス(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

4. バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Commonwealth Bank of Australia	8.7
2	BHP Group Ltd.	6.8
3	CSL Ltd.	4.6
4	AIA Group Ltd.	4.3
5	National Australia Bank Ltd.	3.9
6	Westpac Banking Corp.	3.8
7	DBS Group Holdings Ltd.	3.5
8	ANZ Group Holdings Ltd.	2.9
9	Wesfarmers Ltd.	2.7
10	Macquarie Group Ltd.	2.7
組入銘柄数		103銘柄

■1万口当たりの費用明細

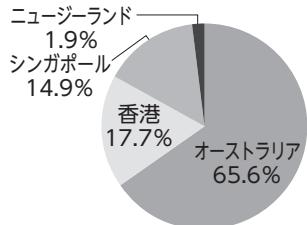
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2024年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.12

■国・地域別配分



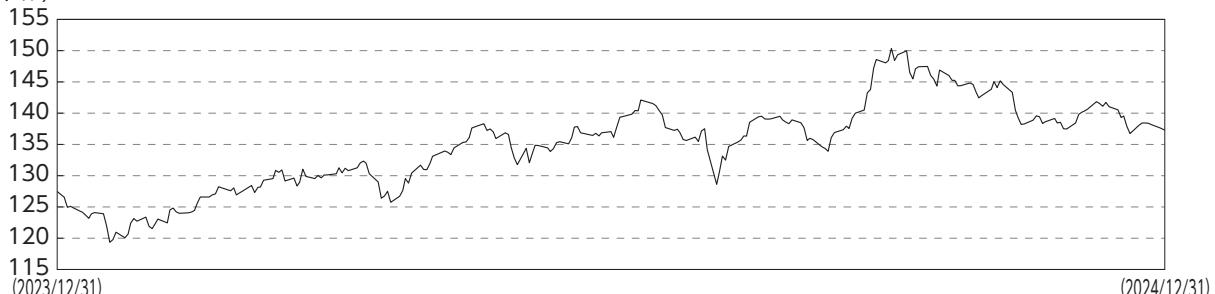
5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	MSCIエマージング・マーケット・インデックスに連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	MSCIエマージング・マーケット・インデックスを構成する株式を投資対象とします。基本的にインデックスとほぼ同じ組入比率でポートフォリオを構築します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービス(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	10.3
2	Tencent Holdings Ltd.	4.4
3	Samsung Electronics Co. Ltd.	2.5
4	Alibaba Group Holding Ltd.	2.2
5	HDFC Bank Ltd.	1.5
6	Meituan	1.2
7	Reliance Industries Ltd.	1.1
8	China Construction Bank Corp.	1.0
9	ICICI Bank Ltd.	1.0
10	Infosys Ltd.	0.9
組入銘柄数		1,276銘柄

■1万口当たりの費用明細

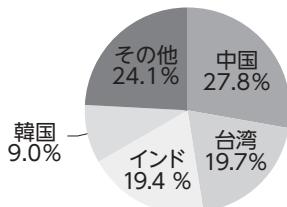
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2024年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.16

■国・地域別配分

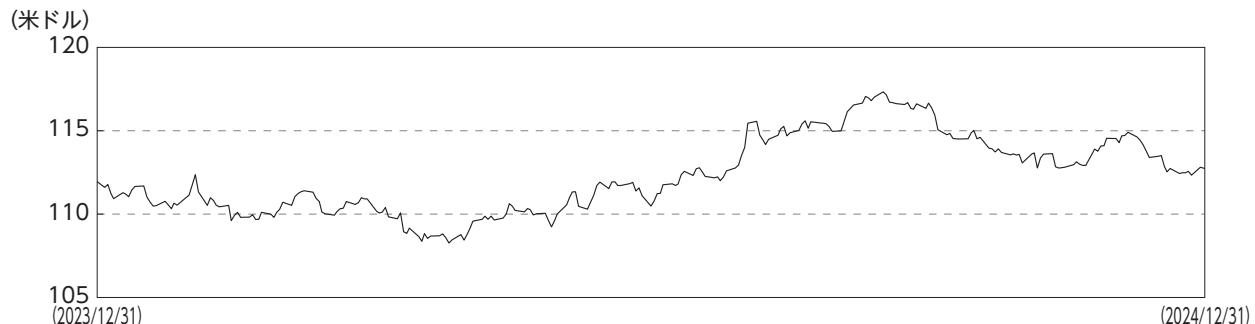


6. バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	ブルームバーグ米国政府債浮動調整インデックス(米国債および米国政府機関債(米ドル建て・残存期間1年超)の時価総額加重インデックス)に連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	ブルームバーグ米国政府債浮動調整インデックスを構成する債券を投資対象とします。通常、インデックスのリスク特性と同等となるよう運用を行います。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービス(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

6. バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	US TREASURY NOTE (15/5/2034)	1.04
2	US TREASURY NOTE (15/2/2034)	1.01
3	US TREASURY NOTE (15/11/2033)	0.94
4	US TREASURY NOTE (15/8/2034)	0.91
5	US TREASURY NOTE (15/8/2033)	0.80
6	US TREASURY NOTE (15/8/2031)	0.80
7	US TREASURY NOTE (31/12/2026)	0.79
8	US TREASURY NOTE (15/11/2032)	0.78
9	US TREASURY NOTE (15/5/2032)	0.77
10	US TREASURY NOTE (15/11/2031)	0.77
組入銘柄数		362銘柄

■1万口当たりの費用明細

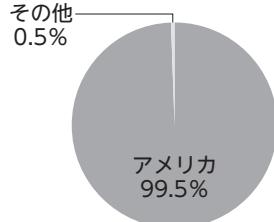
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

(2024年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率(年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

■国・地域別配分

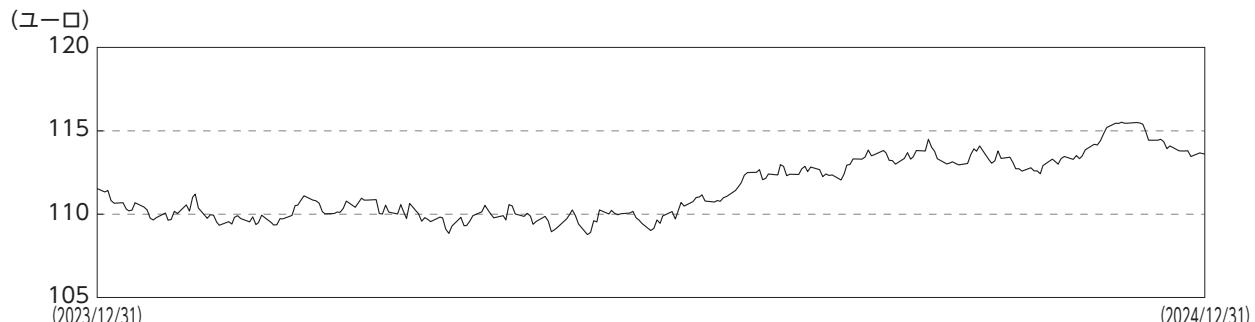


7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(ユーロ建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	ブルームバーグ・ユーロ政府債浮動調整インデックス(ユーロ圏各国の発行する国債および政府機関債(ユーロ建て・残存期間1年超)の時価総額加重インデックス)に連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	ブルームバーグ・ユーロ政府債浮動調整インデックスを構成する債券を投資対象とします。通常、インデックスのリスク特性と同等となるよう運用を行います。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービス(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
設定日	2013年12月6日
決算日	毎年12月31日

7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	REPUBLIC OF ITALY BOND (1/7/2029)	1.00
2	REPUBLIC OF ITALY BOND (15/2/2027)	0.87
3	FRENCH REPUBLIC BOND (24/9/2027)	0.87
4	FRENCH REPUBLIC BOND (25/11/2033)	0.78
5	REPUBLIC OF ITALY BOND (15/7/2031)	0.78
6	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY BOND (15/11/2030)	0.77
7	FRENCH REPUBLIC BOND (25/2/2027)	0.76
8	FRENCH REPUBLIC BOND (24/9/2026)	0.75
9	FRENCH REPUBLIC BOND (25/11/2029)	0.71
10	REPUBLIC OF ITALY BOND (1/10/2029)	0.69
組入銘柄数		1,126銘柄

■1万口当たりの費用明細

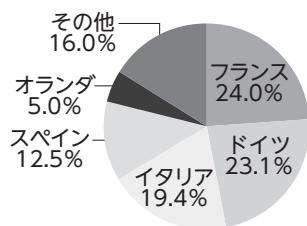
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2024年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

■国・地域別配分

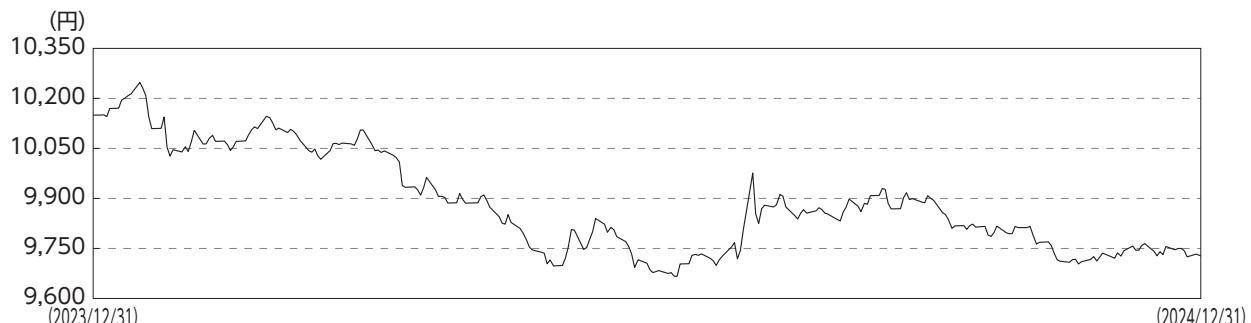


8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

分類	インスティテューショナルプラスシェア・クラス(円建て)
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	ブルームバーグ日本政府債浮動調整インデックス(日本国政府および政府機関が発行する投資適格債券(円建て・残存期間1年超)の時価総額加重インデックス)に連動する運用成果を目指します。
運用方針／投資対象	ブルームバーグ日本政府債浮動調整インデックスを構成する債券を投資対象とします。通常、インデックスのリスク特性と同等となるよう運用を行います。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービス(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
設定日	2014年9月2日
決算日	毎年12月31日

8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■組入上位10銘柄

(2024年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	第376回利付国債(10年)	1.52
2	第375回利付国債(10年)	1.28
3	第374回利付国債(10年)	1.09
4	第373回利付国債(10年)	0.95
5	第158回利付国債(5年)	0.81
6	第37回利付国債(30年)	0.80
7	第460回利付国債(2年)	0.80
8	第459回利付国債(2年)	0.72
9	第461回利付国債(2年)	0.69
10	第464回利付国債(2年)	0.69
組入銘柄数		393銘柄

■1万口当たりの費用明細

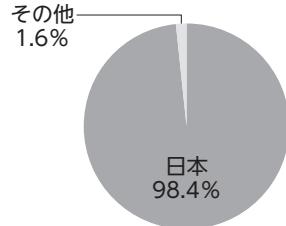
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

(2024年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.06

■国・地域別配分



- ・費用明細に記載されている運用管理费率とは、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。
- ・投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・バンガード・500・インデックス・ファンド以外の資産別配分、通貨別配分は、開示されていないため記載しておりません。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIパシフィック・エックスジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国と新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他的一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックスは、日本国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
- ・ブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスは、米国、カナダ、日本、イギリス、ドイツ、フランス、イタリアの国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
- ・ブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックスは、中国、韓国、インドネシア、マレーシアなど新興国の自国通貨建て国債で構成されるインデックスです(為替ヘッジなし)。
- ・「Bloomberg[®]」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークです。ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果についていかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。
- ・S&P500はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス(S&PDJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&PDJIに帰属します。S&PDJIは当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&PDJIは当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&PDJIは当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&PDJIはファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別あるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することができますのでご了承ください。

バンガード・500・インデックス・ファンド	→ 500・インデックス
バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	→ ヨーロピアン・ストック
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ストック
バンガード・パシフィック・エックスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ パシフィック・エックスジャパン・ストック
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	→ エマージング・マーケット・ストック
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ U.S.・ガバメント・ボンド
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ユーロ・ガバメント・ボンド
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ガバメント・ボンド

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating(リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタンント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタンント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

ウエルスアドバイザーアワード2024[“NISA成長投資枠”WA 優秀ファンド賞]は過去の情報に基づくものであり、将来的パフォーマンスを保証するものではありません。また、ウエルスアドバイザーが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

NISA成長投資枠“WA 優秀ファンド賞”については、https://www.wealthadvisor.co.jp/event/wa_award2024/をご覧ください。

当賞は国内公募追加型株式投資信託のうち、2024年12月30日における『NISA 成長投資枠登録のアクティブファンド(ETF、DC、SMA、限定追加型を除く)』を選考対象として独自の分析に基づき、各部門別に総合的に優秀であるとウエルスアドバイザーが判断したものです。

バランス型 部門は、選考対象ファンドのうち、同年12月末において当該部門に属するファンド327本の中から選考されました。

※ウエルスアドバイザー株式会社(旧モーニングスター株式会社)

1998年3月27日の設立以来、約25年にわたり、国内の投資信託を中心とした金融商品評価事業を行ってまいりました。2023年3月30日付で米国 Morningstar, Inc ヘブランドを返還し、以降、引き続き中立・客観的な立場で、投信評価事業をウエルスアドバイザー株式会社で行っております。